

南アメリカ・オセアニア 州

名前

- 問1 オーストラリア、ブラジル、中国、インドという上位四カ国で世界の産出量の多くを占める鉱産資源と、その資源が多く分布する地形的な特徴の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 鉄鉱石 — 浸食が長い期間続き、地震や火山活動がほとんど見られない「安定陸塊」 | 2. 銅鉱 — アンデス山脈のように、プレート沈み込みに伴う火山活動が活発な地域 | 3. 石炭 — 数億年前の造山運動によって形成され、現在は低くならかな山脈となっている「古期造山帯」 | 4. 石油 — 比較的新しい時代の地殻変動によって形成された、険しい山脈が連なる「新期造山帯」 |
|--|--|--|---|
- 問2 オーストラリアへの移民の出身地域に関する変化について、1940年代から1970年代前半までの状況と比較して、1970年代後半以降に顕著に見られるようになった特徴として正しいものはどれか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|------------------------------------|---|
| 1. アフリカ諸国からの労働力としての移民が、全移民の半数を超えるようになった。 | 2. イギリスやアイルランドなどのヨーロッパ出身の移民がさらに高い割合を占めるようになった。 | 3. アジアや東南アジア、オセアニア諸国からの移民が大幅に増加した。 | 4. 北アメリカや南アメリカからの移民が、ヨーロッパからの移民の数を上回った。 |
|--|--|------------------------------------|---|
- 問3 南アメリカ大陸の形状について述べた説明において、大陸が最も細くなっている最南端の先端部分を水平に横切るように位置している緯線はどれか。北アメリカ大陸のアメリカ合衆国とカナダの国境線の一つである北緯49度に近い数値であることを参考に答えなさい。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 南緯30度 | 2. 南緯40度 | 3. 南緯50度 | 4. 南緯20度 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問4 チリの輸出相手国の構成に関する統計において、1993年時点ではアジア州の国で上位5か国に入っていたのは日本（16.2%）のみでしたが、2017年には中国（27.6%）が首位となり、日本と韓国を合わせた計3か国が上位5か国を占めるようになりました。このようなチリの貿易の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. アジア市場への依存度が高まっており、特に中国が最大の輸出相手国となっている。 | 2. 輸出相手国の大部分をヨーロッパ諸国が占めるようになり、アジアとの取引は縮小している。 | 3. 輸出総額が1993年よりも減少したため、特定の国への依存を避ける傾向にある。 | 4. アメリカ合衆国への輸出割合が急増し、北アメリカ州への依存が一段と強まっている。 |
|---|---|---|--|
- 問5 全陸地面積のうち、乾燥帯の占める割合が約57.2%と半分を超えており、温帯が約25.9%、熱帯が約16.9%という気候構成になっている大陸はどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|-----------|------------|------------|
| 1. オーストラリア大陸 | 2. アフリカ大陸 | 3. ユーラシア大陸 | 4. 南アメリカ大陸 |
|--------------|-----------|------------|------------|
- 問6 ブラジルの農産物生産統計において、2006年には約4億7741万トンであったある農作物の生産量が、2010年には約7億1746万トンへと短期間で大幅に増加しました。この農作物は、自動車などの燃料として利用されるバイオ燃料の原料となりますが、この農作物の名称として正しいものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|---------|----------|
| 1. バナナ | 2. コーヒー豆 | 3. オレンジ | 4. さとうきび |
|--------|----------|---------|----------|
- 問7 1960年当時のオーストラリアは、輸出額の約4分の1をイギリスが占めていましたが、2010年の統計では中国が約25%で首位となり、2位の日本、3位の韓国を合わせるとアジアの3カ国で輸出全体の半分近くを占めるようになっていきます。この変化に関連するオーストラリアの記述として、正しいものを選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 1960年以前から一貫して中国が最大の輸出相手国であり、羊毛や鉄鉱石のほとんどを輸出してきた。 | 2. かつての宗主国であるイギリスとの経済的結びつきが相対的に弱まり、地理的に近いアジア諸国との貿易が拡大した。 | 3. 石炭や鉄鉱石などの鉱産資源が枯渇したため、現在はイギリスなどのヨーロッパ諸国へ工業製品を主に輸出している。 | 4. アジア州からの移民を制限する白豪主義を現在も維持しており、経済面でのみ中国や日本と協力している。 |
|--|--|--|---|
- 問8 オーストラリアは世界有数の鉱産資源の産出国であり、その多くを日本などへ輸出しています。大陸の地質や地形に基づいた資源の分布について、大陸東部の山脈付近で採掘が盛んな資源と、大陸北西部の地域で採掘が盛んな資源の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|----------------|------------------|---------------------|
| 1. 東部：石炭、北西部：鉄鉱石 | 2. 東部：銅、北西部：石炭 | 3. 東部：鉄鉱石、北西部：石炭 | 4. 東部：石炭、北西部：ボーキサイト |
|------------------|----------------|------------------|---------------------|
- 問9 銅の需給に関するある統計資料において、鉱山から直接採り出された「産出量」が約20,500千トンであるのに対し、製品の原料として供給された「生産量」は約24,400千トンとなっており、生産量が産出量を大きく上回っています。このように、生産量が産出量を上回る主な理由として、現代社会で行われているどのような取り組みが挙げられますか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 不足分を補うために、海外から未加工の鉱石を大量に輸入して備蓄しているため | 2. 技術革新によって、同じ量の鉱石から抽出できる金属の割合が大幅に向上したため | 3. 過去に採掘して保管されていた在庫を放出し、市場への供給量を調整しているため | 4. 廃棄された製品などから回収された再生資源が、リサイクルされて再び利用されているため |
|---|--|--|--|
- 問10 南アメリカ大陸の太平洋側に位置するペルーの首都リマは、年間の降水量がわずか2mm程度という極めて乾燥した気候が特徴です。このようなリマの気候的特徴を表す用語として、最も適切なものはどれか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|------------|-----------|
| 1. 熱帯雨林気候 | 2. 海岸砂漠 | 3. 西岸海洋性気候 | 4. 地中海性気候 |
|-----------|---------|------------|-----------|
- 問11 南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いに発展したインカ帝国と、その地域で行われてきた生活様式について述べた文として、自然環境との関わりを踏まえた記述として正しいものはどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 季節風の影響を受ける温暖な平野部において、大規模な灌漑設備を整えることで稲作を中心とした中央集権国家を樹立した。 | 2. 高地特有の冷涼な気候に対応するため、じゃがいもなどの作物を栽培し、マチュピチュのような高度な石造りの都市を建設した。 | 3. 熱帯雨林の広がる低地において、焼畑農業によってキャッサバなどを栽培し、移動を繰り返しながら生活する文化を築いた。 | 4. メキシコ高原の乾燥した気候を活かして、とうもろこしの栽培を基礎とした都市国家を形成し、独自の暦や文字を発達させた。 |
|---|---|---|--|
- 問12 日本がオーストラリアから輸入している品目のうち、2022年の統計において輸入総額の約45%と最も大きな割合を占め、主に日本の火力発電の燃料として利用されている鉱産資源を選びなさい。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|-----------|
| 1. 銅鉱 | 2. 石炭 | 3. 鉄鉱石 | 4. 液化天然ガス |
|-------|-------|--------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 鉄鉱石 ― 浸食が長い期間続き、地震や火山活動がほとんど見られない「安定陸塊」	鉄鉱石は地球上で最も古い地殻である「安定陸塊」に豊富に埋蔵されています。オーストラリアの西部やブラジルの鉄山などはその代表例です。石炭は古期造山帯、石油や銅鉱は主に新期造山帯に関連して分布するという特徴があるため、鉄鉱石と安定陸塊の結びつきを理解することが重要です。この資源は現代の鉄鋼業に欠かせない重要な原料となっています。
問2	答え 3 アジアや東南アジア、オセアニア諸国からの移民が大幅に増加した。	オーストラリアでは、第二次世界大戦後から1970年代前半にかけてはイギリスやアイルランドなどヨーロッパ出身の移民が圧倒的多数を占めていました。しかし、1970年代後半以降はそれまでの白人優先の政策（白豪主義）から、多様な文化を認める「多文化主義」へと方針を転換したため、地理的に近いアジアや東南アジア、近隣のオセアニアからの移民が急増しました。
問3	答え 3 南緯50度	南アメリカ大陸は南に向かうにつれて大陸の幅が狭まり、その最南端付近には南緯50度の緯線が通っています。この緯度は、北半球でアメリカとカナダの国境線となっている北緯49度とほぼ同じ緯度にあたり、南アメリカ大陸が南極に近い非常に高い緯度まで伸びていることを示しています。
問4	答え 1 アジア市場への依存度が高まっており、特に中国が最大の輸出相手国となっている。	1990年代から2010年代にかけて、チリの貿易構造は大きく変化しました。1993年にはアメリカ合衆国が最大の輸出相手国であり、アジア州では日本のみが上位に食い込んでいましたが、中国の経済成長に伴い、2017年には中国が輸出額の約4分の1を占める最大のパートナーとなりました。日本や韓国を含めたアジア圏全体への輸出依存度が強まっていることが、統計データの変化から読み取れます。
問5	答え 1 オーストラリア大陸	オーストラリア大陸は、大陸の中央部から西部の広大な範囲に砂漠やステップが広がっており、六大陸の中で最も乾燥帯の面積割合が高いという特徴があります。アフリカ大陸や南アメリカ大陸は熱帯の割合が非常に高く、この構成比とは異なります。
問6	答え 4 さとうきび	ブラジルでは、世界的な環境意識の高まりや石油価格の変動を背景に、石油代替エネルギーとしてのバイオエタノールの需要が急速に高まりました。その主原料であるさとうきびは、2000年代後半に生産量が飛躍的に増加し、ブラジルの農業およびエネルギー政策における最重要作物の一つとなっています。
問7	答え 2 かつての宗主国であるイギリスとの経済的結びつきが相対的に弱まり、地理的に近いアジア諸国との貿易が拡大した。	オーストラリアの貿易構造は、歴史的な結びつきがあったイギリス中心のものから、地理的な利便性と市場の大きさを背景としたアジア中心のものへと大きく転換しました。1960年当時はイギリスが26.4%で1位、日本が14.4%で2位でしたが、2010年には中国、日本、韓国が上位を占めるようになり、アジア州との経済的な相互依存関係が極めて強くなっています。
問8	答え 1 東部：石炭、北西部：鉄鉱石	オーストラリアでは、古期造山帯に属する東部のグレートディバイディング山脈周辺で石炭が、安定陸塊が広がる北西部のビルババ地区などで鉄鉱石が豊富に採掘されます。これらの資源は、大規模な露天掘りによって効率的に採掘されているのが特徴です。
問9	答え 4 廃棄された製品などから回収された再生資源が、リサイクルされて再び利用されているため	金属資源の「産出量」は鉱山から新しく採掘された量を指しますが、「生産量」はリサイクルによって回収された資源も含まれます。銅などの資源において生産量が産出量を上回っているのは、使用済みの電化製品などから資源を回収し、再び原料として活用する仕組みが整っていることを示しています。
問10	答え 2 海岸砂漠	ペルーの首都リマは、南アメリカ大陸の西側に位置しています。この地域は沖合を流れる寒流（ペルー海流）の影響で空気が安定し、雲が発達しにくいいため、海岸沿いでありながら年間を通して降水量が極めて少ない砂漠地帯となっています。
問11	答え 2 高地特有の冷涼な気候に対応するため、じゃがいもなどの作物を栽培し、マチュピチュのような高度な石造りの都市を建設した。	アンデス山脈のような標高の高い地域では、気温が低く酸素も薄いため、平地とは異なる生活の工夫が必要でした。インカ帝国の人々は、斜面に段々畑を作って冷涼な気候に強いじゃがいもを栽培し、車輪や鉄器を使わずに巨大な石を精密に組み上げる高度な建築技術を持っていました。これに対して、メキシコ高原で発展したのはアステカ文明であり、地域背景が異なります。
問12	答え 2 石炭	オーストラリアは日本にとって最大の資源供給国の一つです。2022年の輸入統計では、石炭が全体の45.3%を占めて第1位となっており、次いで液化天然ガスが31.3%、鉄鉱石が8.2%と続きます。石炭は鉄鋼業の原料としても使われますが、日本のエネルギー供給においては火力発電の主要な燃料として不可欠な資源です。